

平成 16 年 3 月 26 日

各 位

石油資源開発株式会社
代表取締役社長 棚橋 祐治
(コード番号：1662)

問合せ先：総務部広報グループ長 下村 恒一
(電話：03-5461-7413)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 16 年 3 月期 (平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日) 連結ならびに個別業績につきましては、平成 15 年 12 月 10 日の上場時に公表しました業績予想を、下記の通り修正しましたのでお知らせします。

記

1. 平成 16 年 3 月期の業績予想の修正 (平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
従来予想 (A)	88,665	13,437	9,542
今回修正予想 (B)	96,100	14,200	9,700
増減額 (B - A)	7,435	763	158
増減率 (%)	8.3	5.6	1.6
(ご参考) 前期実績 (平成 15 年 3 月期)	90,683	12,769	8,828

(2) 個別業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
従来予想 (A)	78,354	12,635	9,450
今回修正予想 (B)	82,400	12,700	9,600
増減額 (B - A)	4,046	65	150
増減率 (%)	5.1	0.5	1.5
(ご参考) 前期実績 (平成 15 年 3 月期)	77,490	11,578	8,385

2. 予想修正の理由

原油販売については、国際原油価格の高止まりを背景に、当社の平均販売単価も 21,000 円/kl 程度（従来計画比+15%程度）で推移しており、これを受けて原油売上高は 60 億円程度の増加となる見通しです。また天然ガス販売についても、北海道における販売量が順調に増加しているほか、火力発電所向けガス販売が堅調に推移しており、従来計画（約 12.3 億 m³）に対して 4~5%の増販が見込まれ、売上高が 10 億円程度増加する見通しです。このため当期の連結売上高は従来計画比で約 8%増加の 960 億円程度と予想しております。

一方、買入海外原油の仕入価格上昇により、売上原価が約 50 億円増加するほか、作業量増による国内探鉱費の増加（約 10 億円）、円高の進行等による営業外損益の悪化等の要因により、経常利益は、従来計画比 5.6%増加の 142 億円、当期純利益は同 1.6%増加の 97 億円を見込んでおります。

以 上